

第11回 いなべFM番組審議委員会議事録

1. 開催年月日 平成28年5月2日(月) 19時00分～

2. 開催場所 ザ・グランドティアラ千寿

3. 出席者 委員総数 6名 出席委員数 5名

出席委員

石原正敬委員長 石垣英一副委員長 日紫喜淳委員
牧野秀紀委員 種村道夫委員

欠席委員

末松則子委員

事務局

会長	弓矢孝己
顧問	川島修
無線従事者	多湖克典
事務局	中林謙太 種村聡樹

4. 議題

1. KYORAKU モアサプライズカップ2016 レポート生中継
ツアーオブジャパン いなべステージ 実況生中継特別番組について
2. 審議用サンプル番組について
(伊勢志摩サミット応援企画 公開収録)
3. 各番組メール集計について
4. その他

5. 議事の経過の概要及び結果

1. KYORAKU モアサプライズカップ2016 レポート生中継
ツアーオブジャパン いなべステージ 実況生中継特別番組について
<事務局より>

昨年に引き続き、5月13日～15日開催の KYORAKU モアサプライズカップにブース出展し、13日、15日には現地より生中継レポートを入れる。

6月1日開催ツアーオブジャパン いなベストージ（自転車ロードレース）では、特別番組を組み、レースの実況を生放送する予定です。

沿道での応援の方へもラジオ又は携帯で実況を聴いていただけたと思います。

6. 審議内容

2. 審議用サンプル番組について

サンプルは、3月13日に公開収録を行った。

「伊勢志摩サミット応援企画 教えてジュニアサミット」

委員 三重県知事、桑名市長、パーソナリティの掛け合いが面白く上手くできていたと思う。

子どもの出演もあり上手く組合せてあった。サミットをうまくPRしてあった。

委員 サミットについて市民の皆さんも理解できていないところもあると思うが、少しの時間であってもいい機会であったと思う。固い番組かと思ったが、知事、市長もわかりやすく伝えていただけたと思う。子ども達の出演も盛り上げてもらいよかった。

委員 上手くまとまっていて、サミットのことを皆さんに周知するのにいい機会であった。質問をしていた子どもさんが小学生の低学年の子が多かったが、実際にジュニアサミットに出ている方は高校生の方なのでできれば中高生（実際に出ている方が入ればもっと良かったと思う。高校生ぐらいの方の質問もあってよかったと思う。

委員 実際に出ている高校生を連れてきたかったが調整がつかなかったようです。

委員 地元密着の番組を企画していくということについてはよかった。

今後も子どもさんなど、なるべく桑員地域に住まれている方々が上手に絡めるような企画をやっていってもらえるといいとあらためて思った。題材はジュニアサミットという外部要因もあったが引き続き地元で何かされるときは、今回のような形で行うのも一つの方法だと思う。また、そういう番組作りをお願いしたい。

3. 各番組メール集計について

<事務局より>

大きな変化はないが、朝の帯番組で少し減少している。

時間変更の影響からなのか今後調査する。

また、時間変更で今までになかった時間帯（月～金9時～10時）のリスナー獲得に努める。

4. その他

<事務局より>

いなべエフエムの目標

「コミュニティエフエムとして市民参加の番組作り、地域密着」

このことを考え4月より番組作りを始めている。

新コーナーとして、いなべ市のスポーツ少年団の情報以前、メール等で要望をいただいていた。現在、いなべ市体育協会と協議中(6月頃より開始予定。)

4月からは、月～金曜日のお昼の生放送中に、いなべ市民の方を紹介する7分程度のコーナーを実施中。パーソナリティがいなべ市民の方にインタビュー(市民全員が対象)

サタデーいなべバージョン前半では、過去に取材した店舗や施設の情報を発信している。(2年間で約50ヶ所)

後半では、子育て情報、園児のインタビューを発信。

また、今年度をもち旧藤原町内の5つの小学校が統合されることが決まり、10月から1ヶ月に1校ずつ計5校の小学校を取り上げ、最終的には1校に統合される事取材していく予定。

以上のような番組をはじめ、地域密着のエフエム局を目指す。

もう一つ重要になるのが防災。

今まで以上にいなべ市と連携をとり、定期的に意見交換し、防災特別番組や常時流せる防災情報などの制作を実施していきたい。

会長 7月で開局2年が経ち、1年目は多くの方に知っていただこうと思い外向けにもいろいろ所で名前をうって来た。3年目はコミュニティエフエムとして何をしたらいいかというところを具体的に考えると、地域のための番組というのが目的だと思う。もちろん、他のイベントや楽しんでいただける番組も必要だが、今、いなべ市でどういことが行われているか、防災などを重点に置き番組制作をやっていききたいと思う。市民の皆さんと共にいなべエフエムを盛り上げて行きたい。

委員 いなべエフエムを立ち上げ、いなべ市に協力、支援してもらい、いなべエフエムがあるということは浸透してきたと思う。いなべ市とタイアップして広報番組を持つということは大事なことだし、いなべ市の広報から広報媒体はいなべエフエムを確実に使ってもらおうよう位置づけをしてもらえるとよい。いなべ市民の方々にもいなべエフエムは自分たちの放送局だと思ってもらえるようにならなければならない。また、高校生ぐらいの若い人材を出す部分が抜けていると思う。選挙権が18才になり主張したいという若者がたくさんいると思う。そういう人材を引っ張り上げてほしい。

委員 いなべ市民の方を紹介するコーナーは具体的にどのようなものか。

事務局 いなべ在住であれば誰でも出ていただける。訪問先は、取材した先でご紹介していただいたり、こちらでピックアップさせていただきながら現在は進めている。パー

ソナリティを同行させ、市民の方のエピソード、お店の紹介等インタビューというより雑談のように気軽に話して頂けるよう考えている。移住してきた方にはいなべの印象、実際住んでみてどうだったかなど話しをしていただいている。

委員 市民がマスコミに出演することはなかなかないので、こういう機会に出ていただければいなべエフエムのファンも増え、ラジオを聴いていただける方も増えると思う。

委員 防災番組はどれくらいの周期で放送するのか。

事務局 何をどれだけ備蓄すればいいのか、この地区の避難場所はどこなのか、市内の危険地区等の情報等は、生放送中のコーナーや毎日決まった時間に繰り返し録音した素材を

放送できるよう考えている。また、特別番組として2時間程度の番組を1クールに1回程、危機管理課の職員、専門家等をゲストに招き制作していきたいと思っている。

委員 防災は、何かあった時に緊急で早く知らせることと、日ごろからの準備が必要。一番早い地域の情報発信ができるメディアがコミュニティラジオだと思う。いなべ市民にいち早くお知らせできるようにすること。

7. 審議事項に対してとった措置

次の番組制作会議にて検討予定。

8. 公表の方法

自社ホームページ

9. その他

特になし。

以上